

〔五〕 定款例及諸規程準則

一 保證責任何々信用販賣購買利用組合定款
無限責任

第一章 總 則

第一條 本組合ハ左ノ事業ヲ行フヲ以テ目的トス

一、組合員ニ産業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト

二、組合員ニ經濟ノ發達ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及組合員ト同一ノ家ニ在ル者公共團體
又ハ營利ヲ目的トセサル法人若ハ團體ノ貯金ヲ取扱フコト

三、加入豫約者ノ貯金ヲ取扱フコト

四、組合員ノ委託ヲ受ケ其ノ生産シタル物ニ加工シ又ハ加工セスシテ之ヲ販賣スルコト

五、組合員ノ産業又ハ經濟ニ必要ナル物ヲ買入レ之ニ加工シ若ハ加工セスシテ又ハ之ヲ
生産シテ組合員ニ賣却スルコト

六、組合員ヲシテ産業又ハ經濟ニ必要ナル設備ヲ利用セシムルコト

七、農業倉庫業法ニ依リ農業倉庫ノ經營ヲ爲スコト

前項第六號ノ設備中電氣設備、水道、浴場、種畜及乾草裝置ハ組合員ノ利用ニ支障ナキ

保證責任無限責任何々信用販賣購買利用組合定款

二
場合ニ限り組合員タルコトヲ得サル者ニモ之ヲ利用セシムルコトヲ得

第二條 本組合ハ^{無制限責任}何々信用販賣購買利用組合ト稱ス

第三條 本組合ノ組織ハ^{無制限責任}トス

保證金額ハ出資一口ニ付金何圓トス

第四條 本組合ノ區域ハ何縣何郡何村トス

第五條 本組合ノ事務所ハ之ヲ何縣何郡何村何番地ニ置ク

第六條 組合員ハ本組合ノ區域内ニ居住シ且獨立ノ生計ヲ營ム者、區域内ニ主タル事務所

ヲ有スル農事實行組合又ハ養蠶實行組合ニ限ル加入豫約者ノ資格亦同シ

第七條 組合員又ハ加入豫約者ハ本組合ト同一ノ目的ヲ有スル他ノ産業組合ニ加入シ又ハ

加入ノ豫約ヲ爲スコトヲ得ス但シ理事ノ承諾ヲ經タル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第八條 組合原簿ニ記載シタル事項ノ變更ノ届出及組合原簿ノ提出ハ毎事業年度末ニ取經

メテ其ノ後二週内ニ之ヲ爲ス

第九條 産業組合法ニ依ル公告ハ本組合ノ揭示場ニ揭示シ且何新聞ニ掲載シテ之ヲ爲ス

第十條 本組合ノ財産ニ對スル組合員ノ持分ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ定ム

一、出資金ニ對シテハ出資額ニ應シ算定ス

二、準備金ニ對シテハ拂込済出資累計額ニ應シ年度毎ニ之ヲ算定加算ス

三、其他ノ財産ニ對シテハ本組合解散當時ノ組合員ニ限リ持分ヲ有シ其割合ハ平等トス
本組合員ニ損失アリ準備金ヲ以テ填補シタルトキハ之ニ對スル持分ニ按分シテ控除シ持
分ヲ算定ス

本組合財産カ出資總額ヨリ減少シタルトキハ出資額ニ應シ持分ヲ算定ス
第一項第二號ノ持分計算ニ付テハ圓位未滿ノ基礎金額ハ之ヲ切捨ツルモノトス

第二章 出資及積立金

第十一條 出資一口ノ金額ハ金何圓トス

第十二條 出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金何圓以上トス

第十三條 第一回後ノ出資拂込ハ配當スヘキ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノノ外理事ノ定ム

ル所ニ依リ出資一口毎ニ毎年一月末及七月末迄ニ金何圓以上宛拂込ムモノトス

第十四條 出資ノ拂込ヲ怠リタルトキハ期日後一日ニ付其ノ拂込ムヘキ金額ノ二千分ノ一

ニ當ル過怠金ヲ徴收スルモノトス

第十五條 本組合ハ出資總額ノ二倍ニ達スル迄毎事業年度ノ剩餘金ノ四分ノ一以上ヲ準備

金トシテ積立ツルモノトス

第十六條 加入金、増口金、過怠金及拂戻ヲ爲ササル持分額ハ之ヲ準備金ニ組入ルルモノ

トス

第十七條 本組合ハ剩餘金ヨリ特別積立金ヲ積立ツルコトヲ得

本組合ハ農業倉庫ノ新築、増築、改築、移築又ハ買入ノ費用ニ對シ補助金ヲ受ケタルトキハ之ヲ農業倉庫減價償却積立金トシテ積立ツルモノトス

本組合ハ剩餘金ヨリ職員退職給與積立金ヲ積立ツルコトヲ得

第十八條 準備金及特別積立金ハ損失ノ填補ニ充ツルモノトス但シ特別積立金ハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ臨時ノ支出ニ處分スルコトヲ得

農業倉庫減價償却積立金ハ農業倉庫ノ減價償却ニ充ツルモノトス

職員退職給與積立金ハ總會ノ承認ヲ經テ定メタル支給規定ニ依リ職員ノ退職給與金ニ充ツルモノトス

第三章 機關

第十九條 本組合ニ理事何名監事何名ヲ置ク

理事ハ組合長一名事務理事一名ヲ互選ス

第二十條 組合長ハ事務ヲ總理シ組合ヲ代表ス組合長事故アルトキハ事務理事之ニ代リ組合長及事務理事共ニ事故アルトキハ理事ノ互選ニ依リ其ノ一名之ニ代ル事務理事ハ組合長ヲ補佐シ組合事務ヲ掌理ス

第二十一條 監事ハ組合財産又ハ理事ノ業務執行ノ狀況ヲ監査シ必要アリト認ムルトキハ

理事ニ對シ意見ヲ開陳スルモノトス

監事ハ監査報ヲ作成シ監査ノ狀況ヲ記載スルコトヲ要ス

第二十二條 監事ハ少クトモ何箇月毎ニ定期監査會ヲ開催シ監査記録ヲ調製スルモノトス

第二十三條 監査報及監査記録ハ理事之ヲ保管ス

第二十四條 理事ノ任期ハ三箇年トシ監事ノ任期ハ一箇年トス但シ任期滿了後ト雖後任者ノ就任スル迄仍在任スルモノトス

組合長及事務理事ノ任期ハ理事ノ任期ニ從フ

補選選舉ニ依リ就任シタル理事又ハ監事ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス但シ理事又ハ監事ノ全員缺ケタル場合ニ於ケル就任者ノ任期ハ新任者ノ例ニ依ル

第二十五條 辭任其ノ他ノ事由ニ依リ理事又ハ監事ニ關員ヲ生シタルトキハ通常總會ノ時期迄猶豫スルコト能ハサル場合ニ限り臨時總會ヲ召集シ補選選舉ヲ爲スモノトス

總會カ理事又ハ監事ノ解任ヲ決議シタルトキハ同時ニ其ノ補選選舉ヲ爲スコトヲ要ス

第二十六條 理事及監事ハ名譽職トス但シ事務理事ハ之ヲ有給トス

理事及監事ニハ總會ノ決議ニ依リ報酬、手當又ハ賞與ヲ支給スルコトヲ得

第二十七條 通常總會ハ毎年何箇月(及何月)之ヲ開ク

臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

保證責任無限責任何キ信用取組買利用組合定款

一、理事カ必要ト認メタルトキ
 二、監事カ財産ノ狀況又ハ業務ノ執行ニ付不整ノ虞アルコトヲ發見シタル場合ニ於テ之ヲ總會ニ報告スル爲必要ト認メタルトキ
 三、理事ノ缺ケタルトキ
 四、組合員カ總會ノ五分ノ一以上ノ同意ヲ得テ總會ノ目的及其ノ招集ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ理事ニ提出シテ總會ノ招集ヲ請求シタルトキ
 第二十八條 總會ノ招集ハ會日ヨリ少クトモ五日前ニ書面ヲ以テ各組合員ニ對シテ其ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス
 前項ノ通知書ニハ其ノ會議ノ目的タル事項ヲ記載シ招集者之ニ記名スルコトヲ要ス
 第二十九條 總會ハ總會ノ組合員ノ半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス
 總會ノ決議ハ出席シタル組合員ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス但シ理事若ハ監事ノ選任又ハ解任、定款ノ變更、組合ノ除名、聯合會ヘノ加入又ハ脱退、解散、及組織變更ノ件ハサレ「合併」ノ決議ハ其ノ四分ノ三以上ノ同意アルコトヲ要ス（無限責任組合ニ在リテハ「」内ヲ削除スルコト）
 第三十條 總會ノ議長ハ組合長之ニ當ル組合長事故アルトキハ理事ノ互選ニ依ル
 監事ノ招集シタル總會ノ議長ハ總會ヲ招集シタル監事之ニ當ル其ノ多數ナル場合ニ於テ

ハ其ノ互選ニ依ル
 總會ニ於テ必要ト認メタルトキハ出席者ノ互選ニ依リ議長ヲ定ムルコトヲ得
 第三十一條 組合員ハ何人以上ヲ代理シテ決議權ヲ行フコトヲ得ス
 第三十二條 總會ニ於テハ決議録ヲ作り開會ノ時期、場所、組合員ノ總數並其ノ出席者數及會議ノ顛末ヲ記載スルコトヲ要ス
 決議録ニハ議長及議長ノ指名シタル出席者二名以上之ニ記名捺印スルコトヲ要ス
 第三十三條 總會ノ議事ニ關スル細則ハ總會ニ於テ之ヲ定ム
 第三十四條 本組合ニ參與何名ヲ置キ總會ニ於テ組合員中ヨリ之ヲ選任ス
 參與ハ本組合事業ノ統制刷新ヲ圖ル爲左ノ職務ヲ行フモノトス
 一、組合員各自ニ付信用、販賣、購買、利用及農業倉庫事業ノ利用ノ難易及程度ノ調査及信用程度ノ評定ヲ爲スコト
 二、理事ノ指揮ヲ承ケ事業促進上ノ實行ニ當ルコト
 三、理事ノ諮問ニ答ヘ又ハ組合事業ニ對シ意見ヲ開陳スルコト
 參與ハ信用、販賣、購買、利用及農業倉庫事業ニ付各委員長一名ヲ互選ス
 委員長ハ各業務ヲ統轄スルモノトス
 利用程度表ハ毎年何回、信用程度表ハ毎年何回之ヲ作成スルモノトス程度表ハ理事之ヲ
 保證責任無限責任何々信用販賣購買利用組合定款

保管ス

八

第三十五條 參與ノ任期ハ二箇年トス但シ任期滿了後ト雖後任者ノ就職スル迄其ノ任ニ在

ルモノトス

參與ハ總會ノ決議ニ依リ何時ニテモ解任スルコトヲ得

參與ノ選任及解任ニ關シテハ理事及監事ノ例ニ依ル

第三十六條 第二十六條ノ規定ハ參與ニ之ヲ準用ス

第三十七條 組合長ハ總會ノ承認ヲ經テ特別ノ技能アルモノヲ協議員ト爲スコトヲ得

協議員ハ理事ノ諮問ニ答ヘ又ハ組合ノ事業ニ付理事ニ意見ヲ開陳スルモノトス

第三十八條 本組合ニ事務員何名及技師員何名ヲ置キ組合長之ヲ任免ス

第四章 事業執行

第一節 通則

第三十九條 本組合ノ事業年度ハ毎年何月何日ニ始リ(翌年)何月何日ニ終ル

第四十條 本組合ノ餘裕金ハ産業組合中央金庫、信用組合聯合會、郵便局若ハ總會ノ承認

ヲ經タル銀行ニ預入レ又ハ之ヲ以テ國債證券、地方債證券、復興貯蓄債券、産業債券、

勸業債券、興業債券、北海道拓殖債券若ハ農工債券ヲ買入ルルノ外他ニ之ヲ運用スルコ

トヲ得ス但シ所有シ得ヘキ有價證券ノ額ハ國債證券、地方債證券及産業債券ヲ除キ準備

金其ノ他ノ積立金ノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第四十一條 本組合事業ノ執行ニ關シテハ特別ノ事情ナキ限り系統機關ト專屬取引ヲナス

モノトス

第四十二條 事業執行ニ關スル細則ハ理事之ヲ定ム

第二節 信用

第四十三條 貸付ハ資金ノ用途及信用程度ヲ考査シ其ノ金額及方法ヲ定メ之ヲ爲スモノト

ス但シ農事實行組合又ハ養蠶實行組合ニ對スル貸付ニ付テハ其ノ事業資金就本組合ニ加

入セサル組合員ニ對スル轉貸資金ニ限ルモノトス

第四十四條 理事貸付ヲ爲ス場合ニ於テ必要ト認ムルトキハ保證人ヲ立テシメ又ハ擔保ヲ

供セシムルモノトス

保證人ハ特別ノ事情ナキ限り其ノ組合員所屬ノ農事實行組合又ハ養蠶實行組合ヲシテ之

ニ當ラシムルコトヲ要ス

第四十五條 貸付金ノ辨濟期限ハ一箇年内ニ於テ之ヲ定ム但シ特別ノ事由アルトキハ三箇

年内ニ於テ之ヲ定ムルコトヲ得

土地、倉庫、機械、器具、工場、家屋、其ノ他ノ設備ニ要スル固定資金及舊債償還資金

ニ限り特別ノ事由アルトキハ三箇年内ノ割賦償還ノ方法ニ依リ貸付スルコトヲ得

保證責任無限責任何々信用販賣購買利用組合定款

九

第四十六條 聯合農業倉庫證券又ハ農業倉庫證券ヲ擔保トスル貸付ハ證券記載物品ノ時價ノ十分ノ八以内トシ其ノ貸付期限ハ寄託物ノ保管期限ヲ超ユルコトヲ得ス

第四十七條 貸付金ノ辨濟又ハ其ノ利息ノ支拂ヲ怠リタルトキハ貸付金利率ト同率ノ遲延利息ヲ徴收スルモノトス

第四十八條 理事ハ貸付金使用ノ實況ヲ監査シ貸付ノ目的ニ反スルモノアリト認ムルトキハ期限前ト雖辨濟ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十九條 貯金ノ取扱ハ一回金何銀以上トス

加入豫約者ノ貯金ハ一人ニ付投資一口ノ金額及加入金額ノ合計額ヲ超ユルコトヲ得

第五十條 貯金ノ利息ハ別ニ定メタルモノヲ除クノ外毎年何月末及何月末ノ兩度ニ之ヲ計算スルモノトス

第五十一條 貸付金及貯金ノ利率ハ左ノ制限内ニ於テ理事之ヲ定ム

一、貸付金 年一割以下

二、貯金 年六分以下

第三節 販賣

第五十二條 本組合ニ於テ販賣スル物左ノ如シ

一、米、麥、大豆、蕎麥、魚類、何々

二、菓工品、麥稈其田、何々

三、其ノ他總會ノ決議ヲ經タル物

第五十三條 本組合ニ於テ爲ス加工左ノ如シ

精穀、乾藪穀類、何々

第五十四條 組合員ハ理事ノ承諾ヲ經ルニ非サレハ本組合ニ於テ取扱フ物ヲ本組合ヲ通セシテ販賣スルコトヲ得ス

第五十五條 組合員前條ノ規定ニ違反シタルトキハ總會ノ決議ニ依リ過怠金ヲ徴收スルコトヲ得

第五十六條 理事ハ適宜ノ時期ニ於テ各組合員ノ生産物ニ付報告ヲ徴シ又ハ必要ナル調査ヲ爲スコトヲ得

第五十七條 組合員タル農事實行組合又ハ養蠶實行組合ニ加入スル組合員ニシテ其ノ販賣スル物ヲ本組合ニ出荷セムトスルトキハ特別ノ事情ナキ限り農事實行組合又ハ養蠶實行組合ヲ通シテ之ヲ爲スモノトス

第五十八條 本組合カ組合員ヨリ其ノ販賣セムトスル物ヲ受取リタルトキハ其ノ品等及數量ヲ査定シ理事之ヲ組合員ニ通知スルモノトス組合ニ於テ加工ヲ爲シタル場合加工後ノ物ニ付亦同シ

保證責任無限責任何々信用販賣購買利用組合定款

品等査定ノ方法及標準ハ豫メ總會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ム

第五十九條 組合員ハ其ノ販賣委託物ニ付代價又ハ販賣ノ時期ヲ指定スルコトヲ得ス

第六十條 組合員ハ組合ニ販賣委託物ヲ引渡シタル後ハ何時ニテモ代金ノ假渡ヲ請求スルコトヲ得但シ其ノ額ハ時價ノ十分ノ八以内ニ於テ理事之ヲ定ム

前項ノ販賣假渡金ニ對シテハ百圓ニ付日歩二錢五厘以内ニ於テ理事ノ定メタル利息ヲ支拂フコトヲ要ス

第六十一條 組合員ニ配分スヘキ販賣代金ノ計算期ハ毎年總會ニ於テ之ヲ定ム

毎計算期内ニ販賣シタル物ノ代金ハ當該計算期毎ニ各品等ニ付之ヲ計算シ組合員カ委託シタル物ノ數量ニ應シテ之ヲ配分スルモノトス

第六十二條 一計算期内ニ受取リタル物ニシテ當該計算期内ニ賣却スルコト能ハサリシモノニ付テハ其ノ後ニ賣却シタル同品等物ノ代金中ヨリ先ツ其ノ代金ヲ配分スルモノトス

第六十三條 本組合カ受託物ノ販賣ヲ爲シタルトキハ委託者ヨリ總會ニ於テ定メタル販賣歩合金ヲ徴收スルモノトス

第六十四條 受託物中組合ニ於テ精緻、乾菌、調製、俵裝其ノ他特殊ノ勞費ヲ加ヘタルモノニ付テハ別ニ手数料ヲ徴收スルモノトス

前項ノ手数料ハ總會ノ決議シタル範圍内ニ於テ理事之ヲ定ム

第六十五條 販賣假渡金其ノ利息、販賣歩合金及前條ノ手数料ハ代金配分ノトキ之ヲ差引タモノトス

第四節 購買

第六十六條 本組合ニ於テ賣却スル物左ノ如シ

一、肥料、家畜、家禽、種苗、蠶種、種卵、漁網、産業用機械、農業用地何々

二、米、麥、雜穀、味噌、醬油、罐詰、砂糖、酒類、乾物類、茶、織物類、莫大小類、糸類、雨具類、履物類、紙類、金物類、文房具類、小間物類、荒物類、薪炭、石炭、家具及其ノ材料何々

三、鹽、石油、石灰、何々

四、其ノ他總會ノ決議ヲ經タル物

第六十七條 本組合ニ於テ爲ス加工又ハ生産左ノ如シ

一、精緻、肥料ノ配合、蠶種ノ催青、稚蠶ノ飼育、製網、味噌又ハ醬油ノ釀造、家具ノ製作、何々

二、家畜、家禽、種卵、種苗又ハ何々ノ生産

第六十八條 理事ハ組合員ノ注文ニ應シ賣却スヘキ物及其ノ材料ヲ買入レ又ハ生産スルモノトス但シ取扱物件ノ種類ニ依リ便宜買入レ又ハ生産スルコトヲ得

保證責任無責任何々信用取引購買利用組合定款

第六十九條 組合員ハ理事ノ承諾ヲ經ルニ非アレハ本組合ニ於テ取扱フ物ヲ本組合外ヨリ購買スルコトヲ得ス但シ組合員タル農事實行組合又ハ養蠶實行組合ニ加入スル組合員ニシテ産業用品ヲ本組合ヨリ購入セムトスルトキハ特別ノ事情ナキ限り農事實行組合又ハ養蠶實行組合ヲ通シテ之ヲ爲スモノトス

第七十條 組合員前條ノ規定ニ違反シタルトキハ總會ノ決議ニ依リ過怠金ヲ徴收スルコトヲ得

第七十一條 購買ノ申込多數ノ場合ニ於ケル賣却ノ順位又ハ數量ハ申込人ノ購買必要ノ程度等ヲ參酌シテ理事之ヲ定ム

第七十二條 組合員ニ賣却スル物ノ代價ハ市價ヲ標準トシテ理事之ヲ定ム

第七十三條 理事ハ必要アリト認ムルトキハ時期ヲ指定シ組合員ヲシテ其ノ注文シタル物ノ見積代金ノ全部又ハ一部ヲ前納セシムルコトヲ得

第七十四條 組合員ハ組合ヨリ購買物件引渡ノ通知ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク之ヲ引取ルコトヲ要ス

前項ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ一週間内ニ引取りヲ爲ササルトキハ賣却代價ノ十分ノ一ニ當ル過怠金ヲ徴收スルモノトス此ノ場合ニ於テハ本組合ニ於テ其ノ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ妨ケス

第七十五條

組合員ハ購買物件ト引換ニ其ノ代金ヲ支拂フコトヲ要ス但シ特別ノ事由アルトキハ理事ノ承諾ヲ經テ農業用地及産業用機械ニ付テハ十箇年内ノ割賦支拂其ノ他ノ物件ニ付テハ六箇月内ノ延納ヲ爲スコトヲ得

前項但書ノ場合ニ於テハ日歩二錢五厘以内ニ於テ理事ノ定メタル利息ヲ徴收スルモノトス

前二項ノ支拂ヲ怠リタルトキハ總會ニ於テ定メタル過怠金ヲ徴收スルモノトス

第七十六條

前條第一項但書ノ規定ニ依リ代金ノ割賦支拂又ハ延納ヲ承諾スル場合ニ於テハ第四十四條ノ規定ヲ準用ス

第七十七條

本組合ヨリ購買シタル農業用地ヲ他ニ讓渡セムトスル場合ニハ豫メ理事ニ申出ツルコトヲ要ス

第五節 利 用

第七十八條

本組合ニ於テ設備スルモノ左ノ如シ

- 一、脱穀機、大豆粕粉碎機、發動機、揚水機、倉庫、農業用地、種畜、乾藁裝置、何々
- 二、水道、浴場、集會場及其ノ附屬設備、理髮設備、冠婚葬祭用具、接待用具、醫療設備、助産婦、何々
- 三、電氣設備、精穀機、製粉機、何々

保證責任無限責任何々信用販賣購買利用組合定款

第七十九條 第四十四條及第七十一條ノ規定ハ設備利用ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八十條 組合員ハ設備ノ利用ニ對シ利用料ヲ支拂フコトヲ要ス

利用料ハ毎年總會ニ於テ決議シタル範圍内ニ於テ理事之ヲ定ム

利用中設備ヲ損傷シ又ハ之ヲ喪失シタルトキハ理事ノ定ムル辨償金ヲ支拂フコトヲ要ス

第八十一條 前條ノ利用料ハ利用終了ト共ニ支拂フコトヲ要ス但シ特別ノ事由アルトキハ

理事ノ承諾ヲ得テ一箇月毎ニ之ヲ計算シ其ノ月末日迄ニ支拂フコトヲ得

辨償金ハ理事カ辨償ノ請求ヲ爲シタル日ヨリ二週内ニ之ヲ支拂フコトヲ要ス

前項ノ支拂ヲ怠リタルトキハ期日後其ノ支拂フヘキ金額ニ對シ總會ニ於テ定メタル過意

金ヲ徴收スルモノトス

第八十二條 理事ハ設備利用ノ實況ヲ調査シ利用ノ條件ニ反スルモノアリト認ムルトキハ

其ノ利用ヲ一時停止シ又ハ其ノ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得

第八十三條 第一條第二項ノ規定ニ依ル設備ヲ利用セシムル者ハ第六條ノ規定ニ該當セス

若ハ出資ノ能力ナキ爲組合員タルコトヲ得サルモノニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ

限ル

- 一、本組合ノ區域内ニ居住スル者
- 二、本組合ノ區域内ニ於テ家屋物件ヲ所有シ使用シ又ハ占有シ之カ爲設備ヲ利用スル必

要アル者

種畜ニ在リテハ前各號ニ該當セタル者ト雖之ヲ利用セシムルコトヲ得

第八十四條 第七十九條乃至第八十二條ノ規定ハ第一條第二項ノ規定ニ依リ設備ヲ利用セ

シムル場合ニ之ヲ準用ス但シ此ノ場合ニ於ケル利用料ハ實費ノ範圍内ニ於テ理事之ヲ定

メ利用ノ順位ハ組合員ノ利用ニ優先スルコトヲ得ス

第六節 農業倉庫

第八十五條 第一條第一項第七號ノ業務ハ農業倉庫業務規程ノ定ムル所ニ依リ之ヲ行フ

前項ノ規程ハ總會ニ於テ之ヲ定ム

第五章 剰餘金處分及損失ノ填補及分擔

第八十六條 剰餘金ヨリ準備金ニ積立ツヘキ金額ヲ控除シ尚殘餘アルトキハ事業ノ分量ニ

對スル配當金、拂込ミタル出資額ニ對スル配當金、特別積立金、役員賞與金、職員退職

給與積立金又ハ繰越金ト爲スモノトス

第八十七條 事業ノ分量ニ對スル配當ハ其ノ剰餘金ヲ生シタル貯金若ハ貸付金ノ利息、販

賣歩合金、利用料、保管料又ハ購買物件賣却價額ニ應スルモノトス但シ配當ノ率ハ其ノ

計算ノ基礎トナルヘキモノノ種類ニ依リ之ヲ異ニスルコトヲ得

拂込ミタル出資額ニ對スル配當ハ其ノ剰餘金ヲ生シタル事業年度ノ終ニ於ケル組合員ノ

保證責任無限責任何々信用販賣買利用組合定款

拂込済出資額ニ應シ其ノ率ハ年六分以下トス

前二項ノ配當金ノ計算ニ付テハ圓位未滿ノ基礎金額ハ之ヲ切捨ツルモノトス

第八十八條 損失ノ填補ハ先ツ特別積立金ヲ以テシ次ニ準備金ヲ以テス但シ總會ノ決議ニ

依テ特別積立金及準備金ヲ以テ填補スルコトヲ得

第八十九條 本組合財産ヲ以テ其ノ債務ヲ完済スルコト能ハサル場合ニ於テ各組合員間ニ

於ケル損失分擔ノ割合ハ「保證金額」ニ應スルモノトス脱退シタル組合員ノ損失分擔ノ

割合亦同シ

(本規定ハ無限責任組合ニ在リテハ「」内ヲ「出資額」トスルコト)

第六章 加入、増口及脱退

第九十條 新ニ組合員タラムトスル者又ハ出資口數ヲ増加セムトスル者ハ申込書ニ加入金

何錢又ハ増口金何錢ヲ添ヘ理事ニ差出スコトヲ要ス但シ第一年度ニ於テハ加入金又ハ増

口金ヲ徴收セス

農事實行組合又ハ養蠶實行組合カ組合員タラムトスルトキハ前項ノ外其ノ規約組合員名

簿及役員名簿ヲ提出スルコトヲ要ス

「理事第一項ノ申込ヲ承諾シタルトキハ其ノ旨申込人ニ通知シ出資第一回ノ拂込ヲ爲テ

シメタル後組合員名簿ニ記載スルモノトス」(「」内ハ無限責任組合ニ在リテハ「理事

前項ノ申込ヲ受ケタルトキハ書面ヲ以テ總組合員ノ同意ヲ求ムルコトヲ要ス總組合員ノ
同意アリタルトキハ理事其ノ旨加入者ニ通知シ第一回ノ拂込ヲ爲サシメタル後組合員名
簿ニ記載スルモノトス」ト規定スルコト)

加入又ハ増口ノ效力ハ出資第一回ノ拂込ト同時ニ發生スルモノトス但シ第九十一條第一

項、第九十三條及第九十六條ノ場合ハ加入承諾ノ通知ヲ發シタルトキトス

第九十一條 加入豫約ノ申込アリタルトキハ理事ハ其ノ許否ヲ決シ申込人ニ其ノ旨ヲ通知

スルモノトス

前條第一項及第三項ノ規定ハ加入豫約者ヲ組合ニ加入セシムル場合ニ之ヲ準用ス但シ此

ノ場合ニ於テハ加入豫約者ノ貯金ハ其ノ全部ヲ出資及加入金ノ拂込ニ充ツルコトヲ要ス

第九十二條 加入豫約者カ第九十七條第七號又ハ第八號ニ該當スルトキハ總會ノ決議ニ依

リ豫約ノ解除ヲ爲スモノトス

第九十三條 持分ヲ讓渡サムトスル場合ニ於テハ理事ノ承諾ヲ經ルコトヲ要ス

持分ヲ讓受ケムトスル者カ組合員ニ非サルトキハ出資ノ拂込ヲ爲サシメタルノ外第九十

條ノ規定ヲ準用ス

第九十四條 組合員住居ヲ變更シタルトキハ遲滞ナク其ノ旨ヲ本組合ニ届出ツルコトヲ要

ス 農事實行組合又ハ養蠶實行組合ニ在リテハ其ノ規約、組合員又ハ役員ニ變更ヲ生シ

保證責任無限責任何々信用販賣購買利用組合定款

タル場合亦同シ
第九十五條 組合員脱退セムトスルトキハ其ノ事業年度末六箇月(三箇月)前ニ其ノ旨ヲ理事ニ豫告スルコトヲ要ス

第九十六條 死亡ニ因リ脱退シタル組合員ノ相続人カ直ニ加入セルトキハ組合ハ被相続人ニ對スル持分ノ拂戻計算ヲ爲サス被相続人ト同一ノ權利ヲ有シ義務ヲ負フモノトス但シ此ノ場合ニ於テハ加入金ヲ徴收セス

第九十七條 組合員カ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ總會ノ決議ニ依リテ之ヲ除名ス
一、出資ノ拂込、過怠金ノ納付、貸付金ノ辨濟、購買物件賣却代金、利用料、辨償金若ハ利息ノ支拂ヲ怠リ一箇月内ニ其ノ義務ヲ履行セザルトキ
二、本組合ニ於テ供給セル貸付金ヲ貸付ノ目的ニ反シテ使用シタルトキ
三、組合員ノ生産物ニ非サル物ノ販賣ヲ委託シタルトキ
四、理事ノ承諾ヲ經スシテ本組合ニ於テ取扱フ物ヲ本組合ヲ通セスシテ販賣又ハ購買シタルトキ

五、本組合ニ於テ供給セル購買品ヲ供給ノ目的ニ反シテ處分シタルトキ
六、本組合ノ設備ヲ利用ノ條件ニ反シテ利用シタルトキ
七、組合ノ事業ヲ妨クル所爲アリタルトキ

八、犯罪其ノ他信用ヲ失フヘキ所爲アリタルトキ

第九十八條 組合員脱退シタル場合ニ於テ拂戻スヘキ持分ノ額ハ其ノ拂込濟出資額ニ止ムルモノトス但シ除名ニ因ル場合ニ於テハ其ノ拂込濟出資額ノ半額ヲ、死亡其ノ他總會ニ於テ止ムコトヲ得サルモノト認メタル事由ニ因ル場合ニ於テハ拂込濟出資額ノ外準備金ニ對スル持分ノ半額ヲ拂戻スモノトス

第七章 解散

第九十九條 本組合解散シタルトキハ理事其ノ清算人ト爲ル但シ總會ノ決議ニ依リ組合員中ヨリ之ヲ選任スルコトヲ得

第八章 附則

第一百條 本組合設立當時ノ理事及監事ヲ定ムルコト左ノ如シ但シ第一回通常總會ニ於テ改選ス

理事 某某某
理事 某某某
理事 某某某
理事 某某某
理事 某某某
理事 某某某

保證責任無限責任何々信用販賣購買利用組合定款

監事 何 某某
監事 何 某某
監事 何 某某

二 保證責任何々信用組合定款 (市街地信用組合)

(大正六年十二月二十九日
官報第一六二四號登載)

第一章 總 則

- 第一條 本組合ハ左ノ事業ヲ營ムヲ以テ目的トス
 - 一 組合員ニ産業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト
 - 二 組合員ニ對シ其ノ經濟ノ發達ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及組合員ト同一ノ家ニ在ル者公共團體又ハ營利ヲ目的トセサル法人若ハ團體ノ貯金ヲ取扱フコト
 - 三 組合員ニ對シ其ノ産業若ハ經濟ノ發達ニ必要ナル資金ノ爲手形ノ割引ヲ爲シ又ハ組合ノ區域内ニ居住スル組合員外ノ者ノ貯金ヲ取扱フコト
- 第二條 本組合ハ保證責任何々信用組合ト稱ス
- 第三條 本組合ノ組織ハ保證責任トス

保證金額ハ出資一口ニ付金三十圓トス

- 第四條 本組合ノ區域ハ何縣何市トス
- 第五條 本組合ノ事務所ハ之ヲ何縣何市何町何番地ニ置ク
- 第六條 組合員タル者ハ本組合ノ區域内ニ住所ヲ有シ獨立ノ生計ヲ營ム者ニ限ル
- 第七條 本組合ノ存立時期ハ二十箇年トス
- 第八條 組合財產ニ對スル組合員ノ權利ハ其拂込済出資額ニ應スルモノトス

第二章 出資及積立金

- 第九條 出資一口ノ金額ハ金二十圓トス
- 第十條 出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金五圓トス
- 第十一條 第一回後ノ出資拂込ハ配當スヘキ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノノ外出資一口毎ニ毎月末金五十錢宛ノ拂込ヲ爲スモノトス
- 第十二條 出資ノ拂込ヲ怠リタルトキハ期日後一日ニ付其ノ拂込ムヘキ金額ノ百分ノ一ニ當ル過怠金ヲ徴收ス
- 第十三條 産業組合法第十六條ノ五第一項第一號第二號ノ事項竝組合員ノ氏名及住所ニ付爲スヘキ組合原簿ノ變更ノ届出ハ毎年十二月三十一日ニ取纏メテ其ノ後二週間内ニ之ヲ爲スモノトス

保證責任何々信用組合定款

第十四條 準備金ノ額ハ出資總額ト同額トシ其ノ額ニ達スル迄毎事業年度ノ剩餘金ノ四分ノ一以上ヲ積立ツルモノトス

第十五條 加入金、増口金、過怠金及第五十六條ニ依リ拂戻ヲ爲シタル持分ノ殘額ハ之ヲ準備金ニ繰入ルルモノトス

第十六條 剩餘金カ準備金ニ積立ツヘキ金額及組合員ニ配當スヘキ金額ヲ控除シテ尙殘餘アルトキハ特別積立金、役員ノ賞與金及翌年度ヘノ繰越金ト爲スコトヲ得

第十七條 特別積立金ハ損失填補ニ充ツルノ外總會ノ決議ニ依リ之ヲ臨時ノ支出ニ處分スルコトヲ得

第十八條 準備金及特別積立金ハ信用組合聯合會若ハ總會ノ承認ヲ經タル銀行ニ預入レ又ハ之ヲ以テ國債證券、地方債證券、貯蓄債券、勸業債券、日本興業銀行ノ債券、北海道拓殖銀行ノ債券、農工債券若ハ總會ノ承認ヲ經タル社債券ヲ買入ルルノ外他ニ之ヲ利用スルコトヲ得ス但シ特別積立金ハ總會ノ承認ヲ經テ事業資金ニ融通スルコトヲ得

第十九條 産業組合法第四十六條ノ二ノ規定ニ依ル拂戻準備金ハ供託、郵便貯金法ニ依ル貯金若ハ證券保管又ハ信用組合聯合會ヘノ貯金トシテ之ヲ管理スルモノトス

第三章 組合ノ機關

第二十條 本組合ニ理事五名監事三名ヲ置ク

理事ハ組合長一名ヲ互選ス

組合長ハ組合事務ヲ總理シ組合ヲ代表ス

第二十一條 理事ノ任期ハ三箇年トシ監事ノ任期ハ一箇年トス但シ再選ヲ妨ケス

補選ニ依リ就職シタル理事又ハ監事ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス

理事又ハ監事ハ任期滿了後ト雖モ後任者ノ就職スル迄仍其ノ職務ヲ行フモノトス

第二十二條 辭任其ノ他ノ事由ニ依リ理事又ハ監事ニ關員ヲ生シタルトキハ通常總會ヲ依ツコト能ハサル場合ニ於テ臨時總會ニ於テ補選ヲ爲スモノトス

總會カ理事又ハ監事ノ解任ヲ決議シタルトキハ同時ニ其ノ補選ヲ爲スコトヲ要ス

第二十三條 總會ハ通常總會及臨時總會ノ二種トス

通常總會ハ毎年一回一月之ヲ開ク

臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

- 一 理事カ必要ト認メタルトキ
- 二 産業組合法第三十四條ニ依リ監事カ必要ト認メタルトキ
- 三 産業組合法第二十三條ニ依リ組合員ヨリ總會招集ノ請求アリタルトキ

第二十四條 總會ノ招集ハ少クモ五日日前ニ書面ヲ以テ組合員ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス

保證責任何キ信用組法定款

前項ノ通知書ニハ招集者之ニ記名スルコトヲ要ス

第二十五條 總會ハ總組合員ノ半數以上出席スルニ非サレハ開會スルコトヲ得ス若シ半數ニ充タサルトキハ十日以内ニ更ニ招集シ出席シタル組合員ヲ以テ開會ス

前項ノ場合ニ於ケル決議ハ出席シタル組合員ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス

定款ノ變更、理事、監事ノ選任及解任、除名、解散及合併ノ決議ハ總組合員半數以上出席シ其ノ四分ノ三以上ノ同意アルコトヲ要ス但シ合併ニ因リテ組織變更ト同一ノ結果ヲ生スヘキ場合ハ總組合員ノ同意アルコトヲ要ス

第二十六條 總會ノ議長ハ組合長之ニ當ル組合長事故アルトキハ理事ノ一人之ニ代ル

第二十三條第三項第二號ノ場合ニ於ケル總會ノ議長ハ總會ヲ招集シタル監事之ニ當ル其ノ多數ナル場合ニ於テハ其ノ互選ニ依ル

總會ニ於テ必要ト認メタルトキハ出席組合員中ヨリ議長ヲ互選スルコトヲ得

第二十七條 組合員ハ五人以上ヲ代理シテ議決權ヲ行フコトヲ得ス

第二十八條 總會ニ於テハ決議録ヲ作り會議ノ顛末及出席者ノ員數ヲ記載スルコトヲ要ス決議録ニハ議長及議長ノ指名シタル出席者二名以上之ニ署名スルコトヲ要ス

第二十九條 總會ノ議事ニ關スル細則ハ總會ニ於テ之ヲ定ム

第三十條 本組合ニ信用評定委員七名ヲ置キ總會ニ於テ組合員中ヨリ之ヲ選任ス

信用評定委員ノ任期ハ一箇年トス但シ再選ヲ妨ケス

第三十一條 信用評定委員ハ何時ニテモ解任スルコトヲ得

信用評定委員ノ選任及解任ニ關シテハ理事及監事ノ例ニ依ル

第三十二條 信用評定委員ハ毎年一回一月定會ヲ開キ組合員ノ信用ヲ評定シ信用程度表ヲ作成ス

第三十三條 理事、監事及信用評定委員ハ名譽職トス

理事、監事及信用評定委員ハ正當ノ事由ナクシテ辭任スルコトヲ得ス

理事、監事及信用評定委員ニハ總會ノ決議ニ依リ報酬又ハ手當ヲ支給スルコトヲ得

第三十四條 本組合ニ書記若干名ヲ置キ理事之ヲ任免ス

第四章 事業ノ執行

第三十五條 本組合ノ事業年度ハ毎年一月一日ニ始マリ十二月三十一日ニ終ル

第三十六條 組合員ヨリ貸付ノ請求アリタルトキハ理事ハ信用程度表及貸付金ノ用途ヲ考査シ其ノ金額及貸付ノ方法ヲ定ムルモノトス

第三十七條 理事貸付ヲ爲ス場合ニ於テハ組合員ヲシテ保證人ヲ立ラシメ擔保ヲ供セシムルコトヲ要ス

保證責任何キ信用組合定款

第三十八條 貸付金ノ辨済期限ハ六箇月以内ニ於テ之ヲ定ム但シ特別ノ事由アルトキハ二箇年以内ニ於テ之ヲ定ムルコトヲ得

第三十九條 貸付金ノ辨済ニ付テノ遲延利息ハ貸付金ノ利率ニ依ル

第四十條 理事ハ貸付金使用ノ實況ヲ監査シ貸付ノ目的ニ反スルモノト認ムルトキハ期限前ト雖辨済ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十一條 手形ノ割引ニ付テハ第三十六條乃至第三十九條ノ規定ヲ準用ス但シ割引期間ハ三箇月以内ニ於テ之ヲ定ム

第四十二條 貯金ノ取扱ハ一回金十銀以上トス

貯金ノ利息ハ毎年五月末及十一月末ノ兩度ニ於テ之ヲ元本ニ組入ルルモノトス

第四十三條 貸付金ノ利率、手形割引ノ歩合及貯金ノ利率ハ左ノ制限内ニ於テ理事之ヲ定ム

一 貸付金ニ付テハ年一割二分以下

二 手形割引ニ付テハ日歩三錢以下

三 貯金ニ付テハ年七分以下

第四十四條 組合ノ除搭金ハ信用組合聯合會、郵便局又ハ總會ノ承認ヲ經タル銀行ノ外他ニ之ヲ預ケ入ルルコトヲ得ス

第四十五條 事業執行ニ關スル細則ハ理事之ヲ定ム

第五章 剰餘金處分及損失ノ填補及分擔

第四十六條 剰餘金ハ準備金ニ積立ツヘキ金額ヲ控除シタル後ニ非サレハ之ヲ處分スルコトヲ得ス

剰餘金ノ配當ハ拂込済出資額ニ應シ其ノ率ハ年一割以下トス

第四十七條 損失ノ填補ハ先ツ特別積立金ヲ以テシ次ニ準備金ヲ以テス

第四十八條 第一條第三號ノ貯金ニ關スル債務ニ付テハ各理事連帶シテ其ノ責ニ任ス

前項ノ場合ニ於ケル分擔ノ割合ハ各理事ノ出資金額ニ應スルモノトス退任シタル理事ノ分擔ノ割合亦同シ

第四十九條 組合財産ヲ以テ其ノ債務ヲ完済スルコト能ハサル場合ニ於テ組合員間ニ於ケル損失分擔ノ割合ハ出資金額ニ應スルモノトス退任シタル組合員ノ損失分擔ノ割合亦同シ

第六章 加入及股退

第五十條 組合ニ加入セムトスルトキハ申込書ニ加入金ヲ添ヘ理事ニ差出スコトヲ要ス

理事前項ノ申込ヲ承諾シタルトキハ其ノ旨加入者ニ通知シ出資第一回ノ拂込ヲ爲サシメタル後組合員名簿ニ記載スルコトヲ要ス

保證責任何キ信用組合定款

加入金ノ額ハ第一年度ハ出資一口ニ付金二十錢トシ爾後ハ毎年通常總會ニ於テ之ヲ定ム
第五十一條 組合員カ出資ノ増口ヲ爲サムトスルトキハ前條ノ規定ヲ準用ス此ノ場合ニ於
テ徵スヘキ増口金ハ前條ノ加入金ト同額トス

第五十二條 持分ヲ讓渡サムトスル場合ニ於テハ理事ノ承諾ヲ經ルコトヲ要ス持分ヲ讓受
ケムトスル者カ組合員ニ非サルトキハ出資拂込ヲ爲サシメサルノ外第五十條ノ規定ヲ準
用ス前項ノ場合ニ於ケル加入金ハ金二十錢トス

第五十三條 組合員カ脱退セムトスルトキハ其ノ事業年度末六箇月前ニ其ノ旨ヲ理事ニ豫
告スルコトヲ要ス

第五十四條 死亡ニ因リ脱退シタル組合員ノ相續人カ遲滞ナク加入ノ手續ヲ爲シタルトキ
ハ組合ハ被相續人ニ對スル持分ノ拂戻計算ヲ爲サスシテ之ヲ被相續人ト同一ノ權利ヲ有
シ義務ヲ負フモノト看做ス但シ此ノ場合ニ於テハ加入金ヲ徵セス

第五十五條 組合員カ左ノ事由ノ一ニ該當スルトキハ總會ノ決議ニ依リ除名ス
一 出資ノ拂込、過怠金ノ納付、貸付金ノ辨濟、利息ノ支拂又ハ手形債務ノ履行ヲ怠リ
一箇月以内ニ其ノ義務ヲ履行セサルトキ
二 組合ノ事業ヲ妨クル行爲アリタルトキ
三 犯罪其ノ他ノ行爲ニ依リ信用ヲ失ヒタルトキ

第五十六條 組合員脱退ノ場合ニ於ケル持分ノ拂戻ハ其ノ拂込濟出資額ニ止ルモノトス但
シ死亡、禁治産、區域外ニ轉住、其ノ他總會ニ於テ已ムヲ得サルモノト認メタル事由ニ
因リ脱退シタル組合員ニハ持分ノ全部ヲ拂戻スモノトス

第七章 解 散
第五十七條 本組合解散シタルトキハ理事其ノ清算人ト爲ル
第八章 附 則

第五十八條 本組合設立當時ノ理事及監事ヲ定ムルコト左ノ如シ但シ第一回通常總會ニ於
テ之ヲ改選ス

理	理	理	理	理	理	理	理
事	事	事	事	事	事	事	事
何	何	何	何	何	何	何	何
某	某	某	某	某	某	某	某

保證責任何々信用組合定款

三 保證責任何々信用購買販賣利用組合

農業倉庫業務規程

三三二

第一條 本組合ノ農業倉庫ニ於テハ左ノ事業ヲ行フモノトス

- 一 受寄物ノ保管
- 二 受寄物ノ調製、改装及荷造
- 三 受寄物ノ運送又ハ販賣ノ仲立
- 四 受寄物ノ運送又ハ販賣ノ取次
- 五 貸付

前項第一號乃至第四號ノ事業ハ組合員ニ非サル者ノ爲ニモ之ヲ行フ

第二條 本組合ニ於テ寄託ヲ受クル物品ハ當初ノ寄託者カ自ラ生産シタル穀物若ハ藪又ハ小作料トシテ受ケタル穀物ニシテ其ノ所有ニ係ルモノニ限ル
穀物ノ品目左ノ如シ

米、粳、大麥、小麥、稗麥、大豆

第三條 本組合ハ前條ノ規定ニ依ル保管ニ支障ナキ場合ニ限り前條第一項ノ規定ニ拘ラス
前條ニ掲クル物品ノ外左ノ物品ノ寄託ヲ受ク

菜種、紫雲英、蕪工品

第四條 寄託ノ申込競合シタルトキハ左ノ順位ニ依リ其ノ引受ヲ爲ス

- 一 組合員タル生産者ノ寄託
- 二 組合員ニシテ土地ニ付權利ヲ有スル者ノ寄託
- 三 組合員ニ非サル生産者ノ寄託
- 四 組合員ニ非サル者ニシテ土地ニ付權利ヲ有スル者ノ寄託
- 五 其ノ他

前項ノ規定ニ依リ同一順位ニ在ルモノニ付テハ其ノ順位ハ左ノ品目順ニ依ル

米、粳、大麥、小麥、稗麥、大豆、藪、菜種、紫雲英、蕪工品

第五條 第二條ノ規定ニ依ル物品ノ保管上必要アルトキハ何時ニテモ相當ノ期間ヲ定メ第三條ノ規定ニ依リ保管スル物品ノ出庫ヲ其ノ寄託者ニ請求スルコトアルヘシ此ノ場合ニ於ケル請求ノ順位ハ前條ノ規定ニ依リ後順位ニ在ルモノヲ以テ先トス

第六條 受寄物中腐敗、變質等ニ依リ他ノ受寄物ニ損害ヲ及ホス虞アリト認ムル物ニ付テハ何時ニテモ其ノ出庫ヲ寄託者又ハ證券所持人ニ請求スルコトアルヘシ

第七條 種類及品位ノ同一ナル穀物ハ所屬倉庫ノ全部ニ付混合保管ヲ爲スモノトス但シ寄託者ノ請求アリタルトキ又ハ特別ノ事情アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第八條

受寄物ニ對シテハ必要ニ應シニ硫化炭素ノ煙蒸ヲ行フ

第九條 保管料ハ一月ニ付左ノ如ク定メ出庫ノ際受取人ヨリ此ヲ徴收ス但シ一月ニ滿タナル日數ニ付テモ一月分ヲ徴收ス

一米、粳	混合保管ノ場合	一俵、一呎又ハ一袋ニ付	金二一錢
一麥	混合保管ノ場合	一俵、一呎又ハ一袋ニ付	金二一錢
一大豆	混合保管ノ場合	一俵、一呎又ハ一袋ニ付	金二一錢
一藟	混合保管ノ場合	一石ニ付	金十錢
一菜種、紫雲英	混合保管ノ場合	一俵、一呎ニ付	金二錢
一藁工品	混合保管ノ場合	十貫ニ付	金二錢五厘

第十條 保管期間ハ特別ノ契約アル場合ヲ除クノ外六月トス但シ第二條ノ寄託物ニ付テハ所有權ノ移轉ナキトキ、第三條ノ寄託物ニ付テハ第二條ノ規定ニ依ル保管ニ支障ナキトキニ限り保管期間更新ノ求ニ應スルコトアルヘシ

第十一條 受寄物ハ倉庫ノ都合ニ依リ之ヲ左ノ倉庫ニ寄託スルコトアルヘシ

一 何郡何村 何々農會農業倉庫

二 何郡何村 株式會社何々倉庫

第十二條 寄託ノ申込ヲ爲サムトスル者ハ附錄第一號様式ニ準シ申込書ヲ差出スヘシ

縣又ハ同業組合ニ於テ検査ヲ施行シタル物品ニ付テハ其ノ等級ヲ申込書ノ相當欄ニ記入スヘシ

第十三條 受寄物ヲ入庫シタルトキハ附錄第二號様式ノ入庫票ヲ寄託者ニ交付ス

第十四條 寄託物ヲ出庫セムトスル者ハ入庫票又ハ第十八條ノ規定ニ依リ發行シタル農業倉庫證券ヲ呈示シテ之ヲ請求スヘシ

第十五條 混合保管ヲ爲シタル物ニ付テハ寄託者又ハ證券所持人ハ其ノ物ニ付權利ヲ有スル者ノ協議ニ依ラス前條ノ請求ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ出庫ノ請求アリタルトキハ積込ノ順序ヲ問ハス寄託ノ數量ニ應シ之ヲ引渡スモノトス

第十六條 寄託物ノ出シ入レ及積ミ卸シニ付テハ寄託者又ハ證券所持人ハ倉庫係員ノ指圖ヲ受クヘシ

第十七條 保管期間滿了後二週間又ハ第五條若ハ第六條ノ請求ヲ爲シタル後一週間ヲ經過スルモ仍寄託物ヲ受取ラサルトキハ商法第三百八十一條ノ規定ニ依リ之ヲ競賣ニ付スルコトアルヘシ

第十八條

本組合ノ發行スル農業倉庫證券ハ附錄第三號様式ノ倉荷證券ノ一種トス
證券ハ米又ハ麥ニ限り寄託者ノ請求アリタルトキハ入庫票ト引換ニ之ヲ發行ス但シ第三
條ノ規定ニ依ル受寄物ニ對シテハ之ヲ發行セス
證券ノ發行ニ付テハ手数料トシテ一通ニ付金十錢ヲ徵收ス

三六

第十九條

寄託者又ハ證券所持人第十條ノ規定ニ依リ保管期間ノ更新ヲ求ムルトキハ其ノ
入庫票又ハ證券ヲ呈示スヘシ
本組合保管期間ノ更新ヲ承諾シタルトキハ其ノ入庫票又ハ證券ニ更新ノ年月日及期間ヲ
記入ス

第二十條

入庫票又ハ證券ヲ滅失シタル所持人カ其ノ再交付ヲ請求スル場合ニ於テ提供ス
ル擔保ハ本組合ノ指定スル物件又ハ二人以上ノ保證人ナルコトヲ要ス
再交付ノ手数料ノ入庫票ニ在リテハ金三錢、證券ニ在リテハ金十五錢トス

第二十一條

本組合ハ寄託ヲ受ケタル穀物及藪ニ付テハ寄託者ノ委任ヲ受ケサル場合ト雖
寄託者ノ爲ニ包括火災保險ニ附スルコトアルヘシ
火災保險金額ハ受寄物ノ時價ニ依リ之ヲ定ム
保險料ハ實費トシ出庫ノ際受取人ヨリ之ヲ徵收ス

第二十二條

受寄物ノ火災保險ニ關スル事項ハ本組合ト保險者トノ特約ニ依ル

火災保險金ハ必ス本組合ヲ經由シテ其ノ支拂ヲ受クヘキモノトス

第二十三條

本組合ハ受寄物ニ付火災、蟲害、鼠害、雨漏、水濡、窃盜、紛失及漏切等ニ
依リ生スル損害ヲ賠償スル責ニ任ス但シ重大ナル過失ニ基カサル火災又ハ不可抗力ニ依
ル損害ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十四條

受寄物ニ付本組合ノ責ニ任セサル損害アリタルトキ又ハ責ニ任スルモノト雖
重大ナル損害アリタルトキハ遅滞ナク其ノ旨ヲ公告ス
前項ノ公告ノ方法ハ其ノ損害ノ程度ニ依リ適宜之ヲ定ム

第二十五條

混合物ニ付損害アリタルトキハ其ノ寄託者又ハ證券所持人五名以上、寄託者
又ハ證券所持人五名未滿ノ場合ハ全員ノ立會ヲ求メテ損害ヲ調査シ混合物ノ價額ニ應シ
テ混合物ニ之ヲ分賦ス

第二十六條

混合保管ヲ爲ス受寄物ニ付テハ別ニ定ムル検査規定ニ依リ之ヲ検査シ其ノ品
位ヲ査定ス

前項ノ検査ハ縣又ハ同業組合ニ於テ検査ヲ執行シタル物ニ付テハ之ヲ行ハス但シ必要ト
認メタルトキハ縣又ハ同業組合ノ再検査ヲ受クヘキコトヲ求ムルモノトス

第二十七條

受寄物ノ調製、改装若ハ荷造又ハ運送ノ仲立若ハ取次ヲ依頼セムトスル者ハ
入庫票又ハ證券ヲ交付シタル後ハ之ヲ呈示スルコトヲ要ス

第二十八條 受寄物ニ付調製、改装又ハ荷造ヲ爲シタルトキハ入庫票又ハ證券ニ其ノ手数料額ヲ記入シ受寄物出庫ノ際受取人ヨリ之ヲ徴收ス

第二十九條 受寄物ニ付運送ノ仲立又ハ取次ノ依頼ヲ受ケタル場合ニ於テ番車ニ依ルノ必要アルトキハ一定數量ニ達スル迄之ヲ取經ムルモノトス

第三十條 受寄物ノ販賣ノ仲立又ハ取次ハ共同販賣トシ競争入札ノ方法ニ依ル但シ必要ニ應ジ隨意又ハ特約販賣ノ方法ニ依ルコトアルヘシ

第三十一條 本組合ニ於テ發行シタル農業倉庫證券ニ對シテ爲ス貸付ハ時價ノ八割以内日歩何錢何厘以内トシ其ノ期限ハ受寄物ノ保管期限ヲ超エサルモノトス

第三十二條 事業年度ハ一年トシ毎年一月一日ニ始マリ十二月末日ニ終ル

第三十三條 本組合ハ特別ノ計算ニ依リ倉庫部ノ損益ヲ算出ス

前項ノ計算ニ依リ生シタル利益ノ處分又ハ損失ノ填補ハ本組合ノ定款ノ規定ニ依ル

(注意) 附錄様式及附屬規程ハ別ニ示サス

四 聯合農業倉庫業務規程

(大正十五年九月一日官報第
四二〇七號登記農務局調査)

第一章 總 則

第一條 本會ノ聯合農業倉庫ニ於テハ左ノ事業ヲ行フモノトス

一 受寄物ノ保管

二 受寄物ノ調製、改装及荷造

三 受寄物ノ運送又ハ販賣ノ仲立

四 受寄物ノ運送又ハ販賣ノ取次

五 貸 付

前項第一號乃至第四號ノ事業ハ本會ニ所屬セサル組合又ハ聯合會ノ爲ニモ之ヲ行フ

第二條 本會ハ左ノ物品ノ寄託ヲ受ケルモノトス

一 農業倉庫業者カ農業倉庫業法第一條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依リ寄託ヲ受ケタル穀物、砂糖及鹽

二 聯合農業倉庫業者カ保管スル前號ノ物品

穀物及砂糖ノ品目左ノ如シ

聯合農業倉庫業務規程

玄米、精米、粳、大麥、小麥、稗麥、大豆、何々
白糖、白下糖

第三條 本會ハ前條ノ規定ニ依リ保管ニ支障ナキ場合ニ限り左ノ物品ノ寄託ヲ受ク

- 一 農業倉庫業者カ農業倉庫業法第一條第三項ノ規定ニ依リ寄託ヲ受ケタル物品
- 二 販賣組合又ハ販賣組合聯合會カ賣却スル物品
- 三 聯合農業倉庫業者カ保管スル前二號ノ物品

前項ノ物品ノ種類左ノ如シ

玄米、精米、粳、大麥、小麥、稗麥、大豆、何々
白糖、白下糖、藟、何々、糞工品、澱粉、木炭、何々

第四條 寄託ノ申込該合シタルトキハ左ノ順位ニ依リ其ノ引受ヲ爲ス

- 一 所屬組合若ハ所屬聯合會ノ受寄物ニシテ農業倉庫業法第一條第一項及第二項ニ屬スルモノ
- 二 本會ニ所屬セサル組合若ハ聯合會ノ受寄物ニシテ農業倉庫業法第一條第一項及第二項ニ屬スルモノ
- 三 所屬販賣組合若ハ所屬販賣組合聯合會ノ賣却スル穀物、砂糖及藟
- 四 本會ニ所屬セサル販賣組合若ハ販賣組合聯合會ノ賣却スル穀物、砂糖及藟

五 其ノ他

前項ノ規定ニ依リ同一順位ニ在ルモノニ付テハ其ノ順位ハ左ノ品目順ニ依ル

玄米、精米、粳、大麥、小麥、稗麥、大豆、何々
白糖、白下糖、藟、何々、糞工品、澱粉、木炭、何々

第五條 第二條ノ規定ニ依ル物品ノ保管上必要アルトキハ何時ニテモ相當ノ期間ヲ定メ第

三條ノ規定ニ依リ保管スル物品ノ出庫ヲ其ノ寄託者又ハ證券所持人ニ請求スルコトアル
ヘシ此ノ場合ニ於ケル請求ノ順位ハ前條ノ規定ニ依リ後順位ニ在ルモノヲ以テ先トス

第六條 農業倉庫業者カ其ノ受寄物ヲ本會ニ寄託シタルトキハ其ノ農業倉庫ノ寄託者又ハ
證券所持人ハ本會ノ寄託者トス

聯合農業倉庫業者カ其ノ受寄物ヲ本會ニ寄託シタルトキ亦同シ

第七條 本會ノ聯合農業倉庫業ニ關スル公告ハ何々新聞及本會ノ揭示場ニ之ヲ爲ス

第一章 入出庫手續及保管

第八條 寄託ノ申込ヲ爲サムトスル者ハ第一號様式ニ準スル申込書ヲ差出スヘシ

道府縣、同業組合又ハ農業倉庫ニ於テ検査ヲ施行シタル物品ニ付テハ其ノ等級ヲ寄託申
込書ノ相當欄ニ記入スヘシ

第九條 受寄物ヲ入庫シタルトキハ第二號様式ノ入庫票ヲ寄託申込者ニ交付ス

第十條 受寄物保管ノ場所及保管方法ハ本會之ヲ定ム

種類及品位ノ同一ナル物品ハ左ノ倉庫ニ於テ混合保管ヲ爲スコトアルヘシ
一 本庫第一號倉庫乃至第何號倉庫

二 何々支庫全部

寄託ノ申込ニ際シ特ニ保管ノ場所又ハ保管ノ方法ヲ指定シ本會之ヲ承諾シタルトキハ前
二項ニ依ラサルコトヲ得

第十一條 混合保管ヲ爲ス受寄物ニ付テハ別ニ定ムル検査規程ニ依リ之ヲ検査シ其ノ品位
等級ヲ査定ス

前項ノ検査ハ道府縣又ハ同業組合ニ於テ検査ヲ施行シタル物ニ付テハ之ヲ行ハサルコト
アルヘシ但シ必要ト認メタルトキハ道府縣又ハ同業組合ノ再検査ヲ受クヘキコトヲ求ム
ルモノトス

第十二條 受寄物ニ對シテハ必要ニ應シ煙蒸ヲ行フコトアルヘシ

第十三條 受寄物中變質、腐敗其ノ他ノ原因ニ依リ保管ニ適セス又ハ他ノ受寄物若ハ倉庫
ニ損傷ヲ及ス虞アリト認ムルトキハ寄託者又ハ證券所持人ニ相當ノ處置ヲ爲スコトヲ請
求シ又ハ保管期限前ト雖其ノ受寄物ノ出庫ヲ請求スルコトアルヘシ
前項ノ處置又ハ寄託物ノ引取ヲ怠リタル爲ニ損害ヲ生シタルトキハ寄託者又ハ證券所持

人ハ其ノ賠償ノ責ニ任スルモノトス

第一項ノ場合ニ於テ緊急ノ必要アリト認ムルトキハ寄託者又ハ證券所持人ノ承諾ノ有無
ニ拘ラス其ノ者ノ費用ニ於テ相當ノ處置ヲ爲スコトヲ得ルモノトス因テ生シタル損害ハ
本會其ノ責ニ任セス

第十四條 保管期間ハ特別ノ契約アル場合ヲ除クノ外六月トス

第二條ノ規定ニ依ル寄託物ニシテ組合又ハ聯合會ニ於テ保管中其ノ所有權ノ移轉ナキト
キ、第三條ノ寄託物ニ付テハ第二條ノ規定ニ依ル保管ニ支障ナキトキニ限り保管期間更
新ノ求メニ應スルモノトス

前項ノ更新期間ハ六月ヲ超エサルモノトス

第十五條 寄託物ヲ出庫セムトスル者ハ入庫票又ハ第十九條ノ規定ニ依リ發行シタル倉荷
證券ヲ呈示シテ之ヲ請求スヘシ

第十六條 混合保管ヲ爲シタル物ニ付テハ寄託者又ハ證券所持人ハ其ノ物ニ付權利ヲ有ス
ル者ノ協議ニ依ラス前條ノ請求ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ出庫ノ請求アリタルトキハ積込ノ順序ヲ問ハス寄託ノ數量ニ應シ之ヲ
引渡スモノトス

第十七條 寄託物ノ出シ入レ及積ミ卸シ等ニ付テハ寄託者又ハ證券所持人ハ倉庫係員ノ指

圖ヲ受クヘシ

四四

第十八條 保管期間滿了後二週間又ハ第五條若ハ第十三條ノ請求ヲ爲シタル後一週間ヲ經過スルモ仍寄託物ヲ引取ラサルトキハ商法第三百八十一條ノ規定ニ依リ之ヲ競賣ニ付スルコトアルヘシ

第三章 證 券

第十九條 本會ハ寄託者ノ請求アルトキハ第三號様式ノ倉荷證券ヲ交付ス

第二十條 前條ノ倉荷證券ハ受寄物ニ付組合又ハ聯合會ニ於テ發行シタル倉荷證券ニシテ裏書禁止シタルモノ若ハ倉荷證券發行ナキ旨ノ證明書及本會ニ於テ交付セル入庫票ト引換ヘニ之ヲ交付スルモノトス但シ第三條第一項第二號ノ物品ノ倉荷證券ハ入庫票ト引換ニ之ヲ交付スルモノトス

第二十一條 前條ノ規定ニ依リ本會ニ於テ受取リタル組合又ハ聯合會發行ノ倉荷證券ハ本會ニ於テ消印シタル上之ヲ本會ニ保存スルモノトス

前項ノ規定ニ依リ本會ニ保存スル倉荷證券ハ受寄物ヲ出庫シタルトキ之ヲ寄託申込者ニ返戻スルモノトス

第二十二條 第十九條ノ倉荷證券ヲ喪失又ハ滅失シタルトキハ保證人ヲ立テ又ハ擔保ヲ供シテ受寄物ノ出庫若ハ倉荷證券ノ再交付ヲ請求スルコトヲ得

第二十三條 倉荷證券ノ分割、書換又ハ再交付ノ請求アリタルトキハ本會ノ所定ノ手数料ヲ申受クヘシ

第四章 損害及保險

第二十四條 本會ハ受寄物ニ付火災、蟲害、鼠害、雨漏、水濡、竊盜、紛失及漏切等ニ依リ生スル損害ヲ賠償スル責ニ任ス但シ天災、事變其ノ他避クヘカラサル事由ニ基ク損害及保險者カ填補ノ責任ヲ有スル損害又ハ寄託者ノ申出ニ依リ保險ニ附セサル損害ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十五條 本會ノ賠償ノ責ニ歸スヘキ事由ニ因リ受寄物ニ付生シタル損害額ハ時價ニ據リ之ヲ算出ス

第二十六條 受寄物ニ付本會ノ責ニ任セサル損害アリタルトキ又ハ責ニ任スルモノト雖重大ナル損害アリタルトキハ運滞ナク其ノ旨ヲ公告ス

第二十七條 混合保管ヲ爲ス受寄物ニ付損害アリタルトキハ寄託者又ハ證券所持人五名以上、寄託者又ハ證券所持人五名未滿ノ場合ハ全員ノ立會ヲ求メテ損害ヲ調査シ混合物ノ數量ニ應ジ混合物ニ之ヲ分賦ス

第二十八條 本會ハ寄託者ノ委任ヲ受ケサル場合ト雖其ノ者ノ爲ニ受寄物ヲ火災保險ニ附スルモノトス

火災保險金額ハ受寄物ノ時價ニ依リ之ヲ定ム

寄託者又ハ證券所持人ハ本會ノ承諾ヲ得テ前二項ノ規定ト異ル特約ヲ爲スコトヲ得
保險料ハ實費トシ出庫ノ際受取人ヨリ之ヲ徴收ス

第二十九條 受寄物ノ火災保險ニ付テハ總テ本會ト保險者トノ契約ニ依ルモノトス

火災保險金ハ本會ヲ經テ授受スヘキモノトス

第三十條 本會ハ必要ト認ムル場合ハ受寄物ヲ運送保險ニ附スルコトアルヘシ

前項ノ場合ハ前二條ノ規定ヲ準用ス

第三十一條 第四十一條ノ規定ニ依リ寄託ヲ爲ス場合ニ於テ受寄物ヲ倉庫ニ引渡ス迄ニ生

シタル損害ニ付テハ第二十四條乃至第二十七條ノ規定ヲ準用ス

第五章 調製、依裝、販賣、運送及貸付

第三十二條 受寄物ノ調製、改裝若ハ荷造又ハ運送ノ仲立若ハ取次ヲ依頼セムトスル者ハ

入庫票又ハ倉荷證券ヲ呈示スルコトヲ要ス

第三十三條 受寄物ニ付調製、改裝又ハ荷造ヲ爲シタルトキハ入庫票又ハ倉荷證券ニ其ノ

料金額ヲ記入シ受寄物ノ出庫ノ際受取人ヨリ之ヲ徴收ス

第三十四條 受寄物ニ付運送ノ仲立又ハ取次ノ依頼ヲ受ケタル場合ニ於テ必要アルトキハ

一定數量ニ達スル迄之ヲ取廻ムルコトアルヘシ

第三十五條 運送ノ仲立及取次ノ手数料ハ受寄物ヲ運送人ニ引渡スト共ニ依頼者ヨリ之ヲ

徴收ス

第三十六條 受寄物ノ販賣ノ仲立又ハ取次ハ共同販賣トシ競争入札ノ方法ニ依ル但シ必要

ニ應シ隨意又ハ特約販賣ノ方法ニ依ルコトアルヘシ

販賣ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

第三十七條 本會ニ於テ爲ス貸付ハ倉荷證券面記載ノ受寄物ノ時價ノ何割以内日歩何錢何

厘以内トシ其ノ期限ハ受寄物ノ保管期限ヲ超ニサルモノトス

第六章 保管料其ノ他ノ料金

第三十八條 保管料ハ半月(一月若ハ十日)又ハ半月(一月若ハ十日)ニ滿タサル期間ニ

付左ノ如ク定メ出庫ノ際受取人ヨリ之ヲ徴收ス但シ農業倉庫業者若ハ聯合農業倉庫業者

ヨリ寄託ヲ受ケ又ハ聯合農業倉庫業者ニ寄託スル場合ニ於テ半月(一月若ハ十日)ニ滿

タサルトキハ日割計算トス

一 米 混合保管 一俵又ハ一呎ニ付 金何錢
 () 特定保管 一俵又ハ一呎ニ付 金何錢

一 麥 同 同

一 豆	同	同	同
一 蕎	同	同	同
一 黑糖、白下糖	同	一挺又ハ一樽ニ付	同
一 薬	同	一石ニ付	同
一 工 品	特定保管	十貫ニ付	金 何 錢
一 炭	同	同	同
一 粉	同	同	同
一 木	炭 同	一俵又ハ一叭ニ付	同

第三十九條 第四十一條ノ規定ニ依リ寄託スル場合ニ在リテハ保管料、保険料、手数料及運賃ハ聯合農業倉庫業者ヨリ受取リタル入庫票又ハ倉荷證券ヲ交付スル際受取人ヨリ之ヲ徴收ス

第四十條 受寄物ノ販賣、搬出入、看買、調製、改装、荷造、見本抽出等ニ關スル料金ハ別ニ之ヲ定ム

第七章 聯合農業倉庫業者ニ對スル寄託

第四十一條 寄託者若ハ證券所持人ノ請求ニ依リ又ハ本會ニ於テ必要ト認メタルトキハ寄託者若ハ證券所持人ノ承諾ヲ得テ其ノ受寄物ヲ左ノ倉庫ニ寄託スルコトアルヘシ

一 何々聯合農業倉庫

前項ノ場合ニ於テ受寄物ノ質權者アルトキハ其ノ承諾ヲ得ルモノトス
 第四十二條 前條ノ寄託ヲ爲ス場合ニ於テハ寄託者又ハ證券所持人ハ第四號様式ノ請求書又ハ第五號様式ノ承諾書ニ本會ノ發行シタル入庫票又ハ倉荷證券ヲ添ヘ本會ニ差出スヘシ

前條第二項ノ場合ニ於テハ質權者ノ承諾ヲ證スル書面ヲ添付スヘシ

第四十三條 前條ノ規定ニ依リ本會ノ受取リタル倉荷證券ニハ裏書禁止ヲ爲シ聯合農業倉庫ニ寄託スル旨ヲ記入シ本會ニ於テ之ヲ保管ス

寄託者又ハ證券所持人ノ請求アルトキハ前項ノ證券ヲ返戻ス

第四十四條 第四十一條ノ規定ニ依リ寄託ヲ爲ス場合ニ於テ倉荷證券ノ發行ナキトキハ寄託者ノ請求ニ依リ其ノ旨ノ證明書ヲ交付スヘシ

第四十五條 聯合農業倉庫業者ヨリ受取リタル入庫票ハ本會カ共同販賣ノ委託ヲ受ケタル場合ニ限り之ヲ寄託者又ハ證券所持人ニ交付ス

第八章 損益計算

第四十六條 本會ハ特別ノ計算ニ依リ倉庫部ノ損益ヲ算出ス

前項ノ計算ニ依リ生シタル利益ノ處分又ハ損失ノ填補ハ本會ノ定款ノ規定ニ依ル

(注意) 模式及細則ハ之ヲ專ス

五〇

五 何々農事實行組合規約

（昭和八年十一月十日縣告示第九九五號）

第一章 總則

- 第一條 本組合ハ組合員ノ共同ノ利益増進ヲ圖ルヲ以テ目的トス
- 第二條 本組合ハ何々農事實行組合ト稱ス
- 第三條 本組合ノ地區ハ何縣何郡(市)何村(町)大字何トス
- 第四條 本組合ノ事務所ハ之ヲ何縣何郡(市)何村(町)大字何番地ニ設ク
- 第五條 本組合ハ地區内ニ居住シ農業ヲ營ム者ヲ以テ之ヲ組織ス
- 第六條 本組合ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ
 - 一 共同作業
 - 二 生産物ノ共同販賣
 - 三 産業及經濟用品ノ共同購入
 - 四 器具機械ノ共同設備並使用

五 生活改善ニ關スル共同施設及其ノ共勵實行

六 農事ニ關スル調査研究

七 組合員共濟ニ關スル施設

八 品評會講習會講話會ノ開催

九 農業經營合理化ノ共勵實行

十 前各條ノ外組合ノ目的ヲ達スル爲必要ナル事業

第七條 本組合ハ何々産業組合ノ組合員タルモノトス

第八條 本組合カ組合財産ヲ以テ債務ヲ完済スルコト能ハサルトキハ本組合ノ組合員ノ全

員ハ本組合カ産業組合ニ對シ負擔スル一切ノ債務ニ付連帶無限ノ責任ヲ負擔ス

第九條 本組合ノ公告ハ組合ノ揭示場ニ揭示シテ之ヲ爲ス

第二章 加入及脱退

第十條 新ニ組合員タラントスル者ハ加入申込書ヲ理事ニ差出スコトヲ要ス

理事前項ノ申込ヲ承諾シタルトキハ組合員名簿ニ登録シ其ノ旨ヲ申込人ニ通知スルモノ

トス

第十一條 組合員脱退セントスルトキハ少クモ二月前ニ書面ヲ以テ其ノ旨理事ニ報告ス

ルコトヲ要ス

何々農事實行組合規約

五一

組合員ハ區域外轉住其ノ他特別ノ事由アルニ非サレハ濫ニ脱退スルコトヲ得ス
第十二條 組合員死亡シタルトキハ其ノ家督相續人ニシテ組合員タル資格アル者ハ被相續人ニ代リテ組合員トナルモノトス

第十三條 組合員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ總會ノ決議ニ依リテ之ヲ除名ス
一 組合ノ業務ヲ妨クル所爲アリタルトキ

二 犯罪其ノ他不正ノ所爲ニ依リ組合ノ信用ヲ毀損シタルトキ

組合ニ於テ前項ノ規定ニ依ル除名ヲ爲シタルトキハ其ノ旨本人ニ通知ス

第十四條 組合員ノ脱退ニ當リテハ組合財産ノ分配ヲ爲サス但シ組合ニ損失アル場合ハ第四十三條ノ分擔ヲ爲スモノトス

第三章 事業ノ執行

第十五條 本組合ノ事業年度ハ二月一日ニ始リ翌年ノ一月三十一日ニ終ルモノトス

第十六條 本組合ノ事業ニシテ本組合ノ加入セル産業組合ノ事業ト同種ノモノハ總テ産業組合ヲ通シテ之ヲ行フモノトス

第十七條 本組合ハ手数料又ハ使用料ヲ徴スルコトヲ得

前項ノ手数料又ハ使用料ハ毎年總會ニ於テ決定シタル範圍内ニ於テ理事之ヲ定ム

第十八條 本組合ノ事業執行ニ關スル細則ハ總會ノ決議ヲ經テ別ニ之ヲ定ム

第四章 役員

第十九條 本組合ニ理事何名監事何名ヲ置ク

理事ハ組合長及副組合長各一名ヲ互選ス

第二十條 組合長ハ組合ノ業務ヲ統轄シ組合ヲ代表ス

副組合長ハ組合長ヲ補佐シ組合長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス

組合長、副組合長共ニ事故アルトキハ理事ノ互選ニ依リ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定ム

第二十一條 監事ハ組合財産又ハ業務執行ノ狀況ヲ監査シ必要アリト認ムルトキハ理事ニ對シ意見ヲ開陳ス

監査ニ關スル規定ハ監事之ヲ定ム

第二十二條 理事及監事ハ總會ニ於テ組合員中ヨリ之ヲ選任ス但シ設立當時ノ理事及監事ハ規約ヲ以テ之ヲ定ム

第二十三條 理事及監事ハ何時ニテモ總會ノ決議ヲ以テ之ヲ解任スルコトヲ得

第二十四條 理事ノ任期ハ三年トシ監事ノ任期ハ二年トス但シ任期滿了後ト雖後任者ノ就任スル迄仍其ノ任ニアルモノトス

補選選舉ニ依リ就任シタル理事又ハ監事ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス

第二十五條 辭任其ノ他ノ事由ニ因リ理事又ハ監事ニ關員ヲ生シタルトキハ通常總會ノ時

期迄猶重スルコト能ハサル場合ニ限リ臨時總會ヲ招集シ補闕選舉ヲ爲スモノトス
總會カ理事又ハ監事ノ解任ヲ議決シタルトキハ同時ニ其ノ補闕選舉ヲ爲スモノトス
第二十六條 理事及監事ハ名譽職トス但シ總會ノ決議ニ依リ報酬又ハ手當ヲ支給スルコト
ヲ得

第二十七條 理事ハ規約、總會ノ決議録、財産目録及組合員名簿ヲ事務所ニ備ヘ置クコト
ヲ要ス

第二十八條 理事ハ組合員名簿ヲ加入シタル産業組合ニ提出スルコトヲ要ス、前項ノ組合員名簿ニ變更アリタルトキハ選滞ナク産業組合ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス
第二十九條 本組合ハ事業ノ各部ニ部長ヲ置クコトヲ得
部長ハ總會ニ於テ組合員中ヨリ之ヲ選任ス

部長ノ任期ハ二年トシ再選ヲ妨ケス
部長ハ理事ノ指揮ヲ受ケ其ノ部ニ關スル事務ヲ分擔ス
第三十條 第二十三條、第二十四條第二項、第二十五條及第二十六條ノ規定ハ部長ニ之ヲ
準用ス

第三十一條 本組合ハ總會ノ決議ヲ經テ職員ヲ設置スルコトヲ得
職員ノ任免ハ組合長之ヲ行フ

第五章 會

第三十二條 總會ハ通常總會及臨時總會ノ二種トス

通常總會ハ毎年二月之ヲ開ク
臨時總會ハ左ノ場合ニ之ヲ開ク

- 一 理事カ必要ト認メタルトキ
- 二 組合員五分ノ一以上ヨリ會議ノ目的タル事項ヲ示シテ總會ノ招集ヲ請求シタルトキ
- 三 監事カ組合ノ財産ノ狀況又ハ業務ノ執行ニ付不整ノ虞アルコトヲ發見シ之ヲ報告スル爲メ總會ノ招集ヲ必要ト認メタルトキ

第三十三條 本規約ニ定ムルモノノ外左ノ事項ハ總會ノ決議ヲ經テコトヲ要ス

- 一 經費ノ收支豫算
- 二 組合費分賦收入方法
- 三 事業 計 畫
- 四 借 入 金
- 五 規約ノ變更事業執行細則ノ改廢
- 六 産業組合ヘノ加入又ハ脱退
- 七 組合ノ解散

何ハ農事實行組合格約

第三十四條 總會ノ決議ハ組合員ノ半數以上出席シ其ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス但シ組合員ノ除名、役員ノ選任及解任、規約ノ變更、産業組合ヘノ加入又ハ脱退、組合ノ解散及組合費ニ關スル決議ハ出席者ノ三分ノ二以上ノ同意アルコトヲ要ス

第三十五條 理事ハ事業報告、經費ノ收支決算剩餘金ノ處分及財産目録ヲ通常總會ニ提出シ其ノ承認ヲ求ムルコトヲ要ス

前項ノ事項ハ豫メ監事之ヲ調査シ意見ヲ付シテ總會ニ提出スルモノトス

第三十六條 總會ハ組合長之ヲ招集ス但シ第三十二條第三項第三號ノ場合ニ於テハ監事之ヲ招集ス總會ノ招集ハ少クトモ五日前ニ日時、場所及會議ノ目的タル事項ヲ示シテ組合員ニ之ヲ通知スルモノトス

第三十七條 總會ニ於テハ前條ノ規定ニ依リテ豫メ通知シタル事項ニ付テハミ議決ヲ爲スモノトス但シ急速且輕微ナル事項ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第三十八條 總會ノ議長ハ組合長ヲ以テ之ニ充ツ組合長事故アルトキハ副組合長之ニ當ル組合長副組合長共ニ事故アルトキハ理事ノ互選ニ依ル

監事ノ招集シタル總會ノ議長ハ招集シタル監事之ニ當ル其ノ多數ナルトキハ其ノ互選ニ依ル

總會ニ於テ必要ト認メタルトキハ前各項ノ規定ニ拘ラス出席者ノ互選ニ依リ議長ヲ定ム

ルコトヲ得

第三十九條 組合員ハ代理人ヲ以テ其ノ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ出席者ト看做ス

代理人ハ組合員又ハ同居ノ親族ナルコトヲ要ス

代理人ハ代理權ヲ證スル書面ヲ組合ニ差出スヘシ

第四十條 總會ニ於テハ決議録ヲ作り開會ノ日時、場所、組合員ノ總數、出席者ノ員數並會議ノ顔末ヲ之ニ記載シ議長及出席者二名以上署名捺印スルモノトス

第六章 會計資産及損失分擔

第四十一條 本組合ノ經費ハ左ノ收入ヲ以テ之ニ充ツ

一 組合費

二 手数料又ハ使用料

第三十補助金又ハ寄附金

四 雜收入

第四十二條 本組合ニ餘裕金アルトキハ何カ産業組合ニ預ケ入ルモノトス

第四十三條 組合財産ヲ以テ組合ノ債務ヲ完済スルコト能ハサル場合ニ於ケル各組合員間

ノ損失分擔ノ割合ハ最近ノ組合費負擔ノ割合ニ應スルモノトス

第四十四條

組合財産ノ管理及會計ニ關スル細則ハ總會ノ決議ヲ經テ別ニ之ヲ定ム

第七章

第四十五條 本組合解散シタルトキハ理事清算人トナル但シ總會ノ決議ニ依リ組合員中ヨリ之ヲ選任スルコトヲ得

第四十六條 清算ノ結果生シタル殘餘財産ハ最近ノ組合費負擔ノ割合ニ應シ各組合ニ歸屬スルモノトス

第八章

附 則

第四十七條 本組合設立當時ノ理事及監事ヲ定ムルコト左ノ如シ但シ第一回通常總會ニ於テ之ヲ改選ス

昭和何年何月何日本規約ヲ作成スル者 何郡(市)何村(町)大字何々番地

設立者 何 某

以下之ニ做ス

六 産業組合及産業組合聯合會監査規程準則

改正 昭和五年七月二十五日岡山縣告示第五六六號
昭和八年十一月十日岡山縣告示第九九六號

第一條 監事ハ常ニ組合又ハ聯合會ノ事業ヲ監視スルノ外隔月一回監査會ヲ開キ帳簿書類ノ全部又ハ一部ニ就キ監査ヲ行フモノトス

第二條 監査會ノ招集ハ當番監事之ニ當ル當番監事ハ監事ノ互選ニ依リ之ヲ定ム

第三條 監査會ニ於テハ左記事項ヲ監査スルモノトス

- 一 元帳各勘定口座貸借ノ對照
- 二 現金ノ點檢及出納保管ノ適否
- 三 積立金及餘裕金ノ管理ノ適否
- 四 土地、建物、器具、機械、什器、預金證書、通帳及有價證券ノ點檢
- 五 借入金ノ運用並償還ノ適否
- 六 出資拂込遲延ノ有無
- 七 組合ト理事トノ契約ニ關シ手續履行ノ有無

産業組合及産業組合聯合會監査規程準則

- 八 持分算定並拂戻ノ適否
 - 九 諸未收金未拂金ノ點檢
 - 十 損益ノ内容並證書類ノ對照
 - 十一 系統機關利用ノ狀況
- 信用組合
- 一 貸付金證書、元帳及臺帳ノ對照並擔保品ノ點檢
 - 二 貸付最高限度及信用程度超過ノ有無
 - 三 貸付ノ適否並擔保保證人ノ確否
 - 四 貸付金及利息回收ノ狀況
 - 五 脫退者ニ對スル未回收貸付金ノ狀況
 - 六 貸付金及貯金利率並利息計算ノ適否
 - 七 貯金臺帳、元帳及通帳ノ對照
 - 八 貯金取扱方法及組合員ト其ノ他ノ者ト貯金臺帳區分ノ有無
- 販賣組合
- 一 元帳、受拂帳、賣上帳、受託帳、買取帳ノ對照
 - 二 在庫數量(買取委託各別)ノ點檢及保管ノ適否

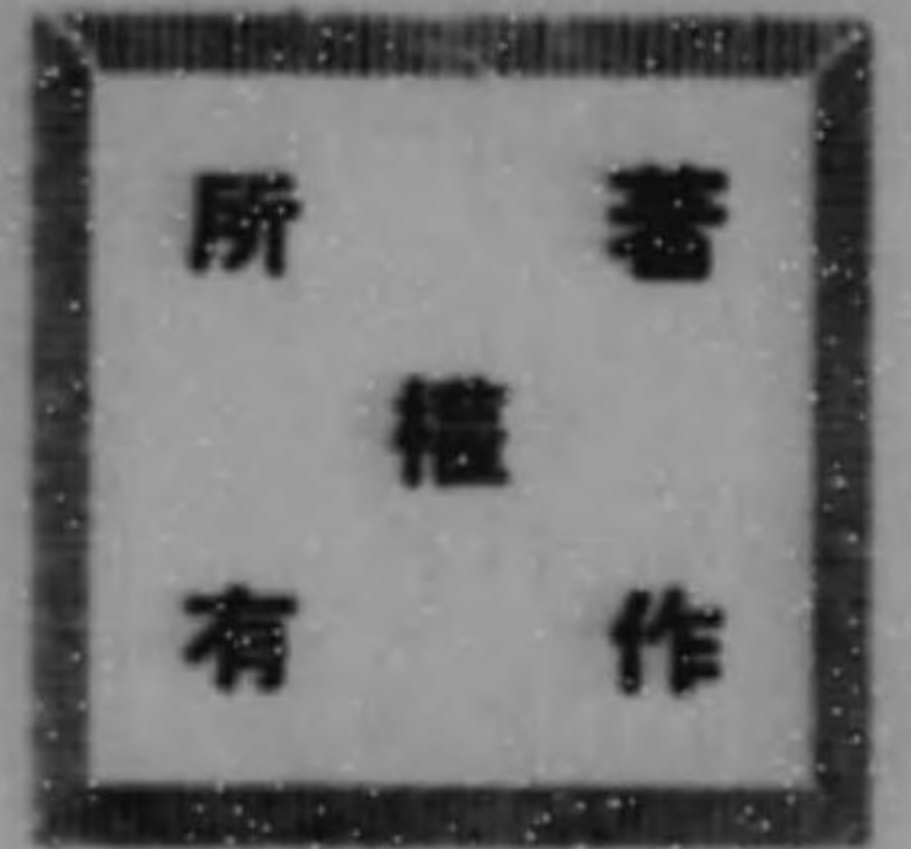
- 三 販賣方法及代金回收ノ適否
 - 四 假渡金及販賣代金清算ノ狀況
 - 五 販賣歩合金及手数料ノ決定及徵收ノ適否
 - 六 加工設備及之カ管理ノ適否
- 購買組合
- 一 元帳、買入帳、受拂帳、賣却帳ノ對照
 - 二 在庫數量ノ點檢及保管ノ適否
 - 三 取扱物品仕入方法及仕入先ノ適否
 - 四 賣却價格及賣却方法ノ適否並代金回收ノ狀況
 - 五 棚卸ノ適否
 - 六 加工生産ノ設備及之カ管理ノ適否
- 利用組合
- 一 元帳、利用帳、利用整理帳ノ對照
 - 二 利用料ノ決定並ニ徵收ノ適否
 - 三 利用設備及之カ管理ノ適否
- 農業倉庫
- 產業組合及產業組合聯合會監査規程準則

- 一 保管臺帳、受寄物受拂帳ノ對照
- 二 證券臺帳、貸付金臺帳、保管臺帳ノ對照
- 三 受寄物販賣取次臺帳、受寄物販賣ノ仲立臺帳、受拂帳、保管臺帳ノ對照
- 四 寄託物品ノ在庫數量保管ノ方法、損害ノ有無
- 五 證券發行及運用ノ狀況
- 六 保管料、手数料並之カ徴收ノ狀況
- 七 保險契約ノ有無並其ノ適否
- 八 貸付及販賣ニ關シテハ信用組合及販賣組合ニ準ス
- 第四條 監事ハ監査ノ結果財産ノ狀況又ハ業務ノ執行ニ付キ不整ノ廉アルコトヲ發見シタルトキハ之ヲ總會又ハ知事ニ報告シ且理事ヲシテ直ニ其ノ整理ヲ爲サシムルモノトス
- 第五條 監事ハ監査録ヲ作り監査ノ都度其ノ顛末ヲ記録スルモノトス
- 第六條 第一條第二項ノ規定ニ依ル監査ヲ終了シタルトキハ全員署名捺印ノ上其ノ顛末ヲ二週間以内ニ知事ニ報告スルモノトス
- 前項ノ報告書ハ二通ヲ作成シ其ノ一通ヲ組合ニ保存スルモノトス

大正五年六月十四日岡山縣告示第二百八十一號ハ之ヲ廢止ス

附 則

昭和九年十二月十日印刷
昭和九年十二月廿日發行



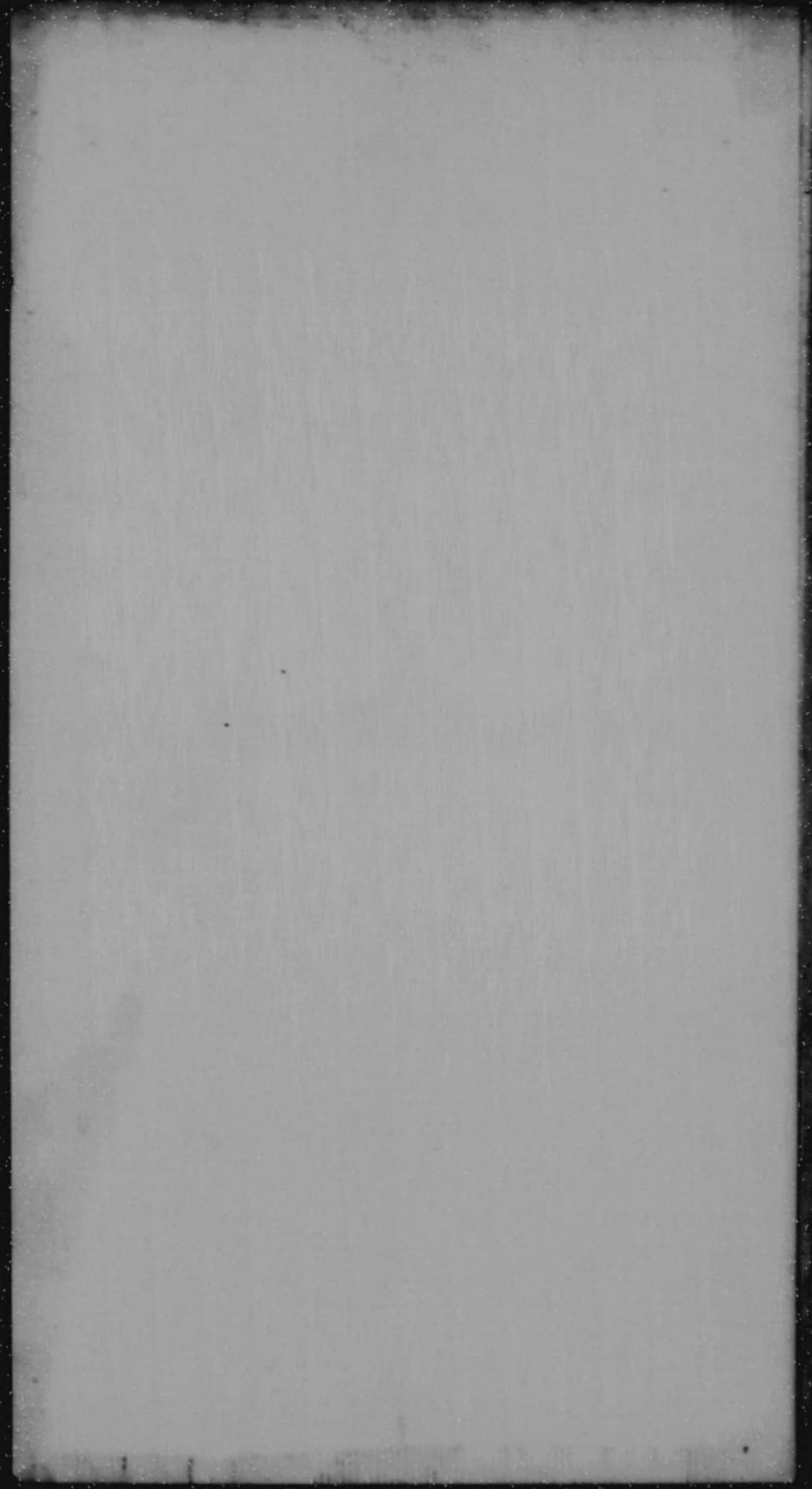
12.17

發行者	阿部 武一	岡山市石關町七六番地
印刷者	田 鶴 松	岡山市富田町四七番地
印刷所	山陽新報社印刷部	岡山市西中山下一五四番地

發行所

産業組合中央會岡山支會

岡山市石關町七六番地
電話 大 四 九 六 九 六 番



中華民國六年六月六日
 聯合中央會 岡山支會
 山岡縣 岡山縣 岡山縣
 內 內 內
 法 法 法

